

平成30年7月19日(木) 12972号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

金は価格下落が影響

1~6月金・プラチナ地金

販売量は前年比32%増

田中貴金属工業(田苗明社長)がまとめた2018年1~6月の金とプラチナ地金の取扱状況によると、金・プラチナとも販売量は前年同期に比べ2桁増となった一方、買取量はマイナスだった。

金の1~6月の合計販売量は1万1,559kgで、前年同期比31.9%増加。買取量は、同7.8%減の9,454kgだった。

2月に米株式市場が史上最大の下げ幅となり、投資先として金が選好され、ドル建て金相場は一時上昇した。その後、米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げに踏み切るとの見通しから、市場に米金利先高感が拡大し、金価格の上値を抑えた。6月には米中貿易摩擦への懸念から、非鉄金属相場が下落。FRBが同月に追加利上げに踏み切ったことで、金価格の下押し圧力が強まった。これを受け、国内金価格も6月29日に期中最安値の4,477円/gまで下げた。軟調な金相場を背景に、6月の金地金販売量は16年10月以来の高水準となる2,935kgを記録した。

プラチナの1~6月の合計販売量は4,573kgで、前年同期比12.4%増加。買取量は同10.6%減の1,996kgだった。

金地金販売・買取量

2018年	月平均金価格	金地金販売量	金地金買取量
	(円/g)	(kg)	(kg)
1月	4,786	1,236	3,009
2月	4,675	2,201	1,144
3月	4,569	2,561	1,157
4月	4,654	1,070	1,450
5月	4,645	1,556	1,284
6月	4,581	2,935	1,501
合計	-	11,559	9,545

プラチナ地金販売・買取量

2018年	月平均プラチナ価格	プラチナ地金販売量	プラチナ地金買取量
	(円/g)	(kg)	(kg)
1月	3,609	679	914
2月	3,537	370	226
3月	3,359	1,357	193
4月	3,297	814	249
5月	3,293	443	211
6月	3,237	910	203
合計	-	4,573	1,996

プラチナは価格下落が進んだ。1月22日に3,678円/gを付けた後、6月29日には期中最安値の3,117円/gをつけ、高値との差は561円となった。田中貴金属は、欧州におけるディーゼル車離れが出ていることで、ディーゼル車の排ガス浄化触媒として使われるプラチナの供給過剰感が市場に出ていると分析。プラチナ相場を下支えしてきた中国の宝飾向け需要にも鈍化の兆しが見えていることで、実需の面からも価格の下落が進んだとみている。そうした中、国内の円建てプラチナ価格は6月29日に期中最安値の3,117円/gを付け、販売量を押し上げた。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

6月亜鉛市況動向

中国需要減退・米中貿易摩擦懸念

亜鉛相場は3,000ドル割れ

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)がまとめた2018年6月の亜鉛市況動向では、中国の需要減退や米中貿易摩擦激化への懸念が売り材料となり、ロンドン金属取引所(LME)の亜鉛相場は3,000ドルを割り込んだ

6月は3,089ドルでスタート。上旬はドル安が進行し、8日に発表された中国の5月貿易統計も好調だったことが亜鉛価格を下支えし、上昇基調となった。

中旬は米朝首脳会談開催で政治リスクが意識され様子見相場となる中、13日には米連邦公開市場委員会(FOMC)が利上げを決定し、投機筋からの買いが停滞。また、14日に中国政府が発表した固定資産投資で、2018年累計の前年同期比の伸び率が1995年以降で最低を記録し、同国の需要減退懸念が加速。15日には、知的財産権侵害問題を巡り米国が対中制裁の発動

を決定、中国もこれに対し報復措置を表明したことで米中貿易摩擦への懸念が強まった。

亜鉛は3,200ドル台の高値で推移していたものの、下旬に入ると3,000ドル割れの水準に急落、26日には2,895ドルの10か月ぶり安値をつけた。28日になると、中国大手製錬会社が亜鉛価格の下落等を理由に10%の協調減産を行うとの報道が出たことで需給逼迫懸念に転じ、価格は2,900ドル台を回復、2,948ドルで月を越した。

需給動向では、豪ニュー・センチュリー・リソーシズの動向を紹介。8月に開始する豪・センチュリー鉱山の尾鉱からの亜鉛生産計画で、同社は2018年第3四半期の亜鉛生産量を4,000トン、第4四半期については3万トンとの見通しを発表した。

CATVシステム機器を紹介

「ケーブル技術ショー2018」に出展

住友電気

住友電気工業(井上治社長)は、7月19日(木)～20日(金)に東京国際フォーラム(東京都千代田区)で開催される「ケーブル技術ショー2018」に出展する。

ケーブル技術ショーは、「最先端ケーブル技術の未来創造～人と地域と社会を結ぶ、情報通信インフ

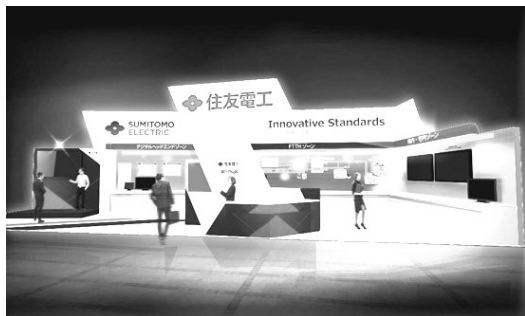
ラの実現に向けて～」をテーマに、ケーブルテレビを支える最先端技術が国内最大級の規模で集結する見本市。

同社のテーマは、「Innovative Standards～高度化CATVシステムの未来を見据えて～」。

主な出展品は、◇高度BSトランスモジュレータ◇10G-EPONシステム◇3.2GHz放送用光伝送システム◇高度BS対応セットトップボックス。

2018年12月から開始される新4K8K衛星放送(高度BS)対応の最新製品を紹介するとともに、ケーブルテレビの未来を見据えたソリューションを提案する。具体的には、高度BSをケーブルテレビで再放送するため、デジタル変調方式のQAM信号に変換する「高度BSトランスモジュレータ」や、高品質な高度BSパスルーサービスを提供する「高度BSシグナルプロセッサ」、「ACAS、MMT・TLV方式対応セットトップボックス」を紹介する。

また、「3.2GHz放送用光伝送システム」、「10G-EPONシステム」等、4K8K放送や急増するトラフィックに対応した最新のネットワークシステムもアピールする。

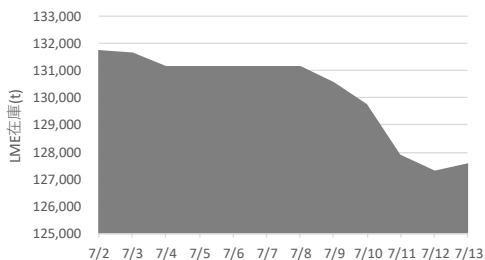


今年のブースイメージ

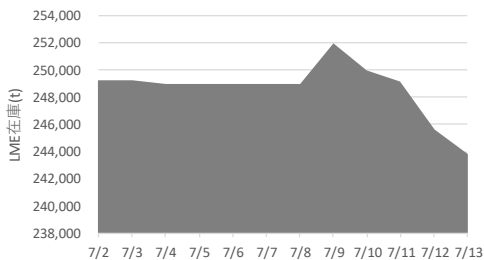
LME認定倉庫在庫量推移

2018年7月2日～7月13日(現地)

鉛



亜鉛



6月のアルミレポートおよび7月の見通し (3)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



【住宅】

・平成30年5月の住宅着工戸数は79,539戸で、前年同月比で1.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では99.6万戸(前月比0.4%増)となった。

・住宅着工の動向については、前年同月比で2か月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家は減、分譲住宅は増となった。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-2.6%、17万1,786 t、5か月連続マイナス。

【板類】

生産・出荷共に5か月連続マイナス。

缶材38,879 t(▲4.0%)。ビール系飲料の低調に加え、缶メーカーの在庫調整もあり、4か月連続でマイナス。

自動車15,545 t(9.2%)。乗用車向けの需要増は継続し、4か月連続でプラス。

輸出16,097 t(▲7.0%)。5か月連続でマイナス。

【押出類】

生産、出荷ともに2か月連続プラス。

建設37,457 t(4.8%)。東京オリンピック・パラリンピックに向けた都市開発の整備に伴う建設向けの需要増は継続し、2か月連続でプラス。

自動車11,558 t(0.7%)。乗用車向けの需要増は継続し、4か月連続でプラス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+7.4%、6万5185 t、8か月連続プラス。

出荷は+7.1%、6万5157 t、8か月連続プラス。

内出荷先は、鋳物+4.7%、ダイカスト+10.1%、板0%、押出、-1.8%、鉄鋼+6.8%、合金地金メーカー-4.2%。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+325.1%の417 t。二次合金が-29.1%の1,624 t、スクラップが-11.6%の6,874 t、アルミ缶が+19.3%の6,802 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+12.4%の16万2,829 t。二次合金が+10%の11万7,437 t、スクラップが+54.1%の1,065 t、合金スクラップが+32.3%の5,137 t。

【見通し】

・自動車は生産が+3.8%。国内販売台数が前年比-7.3%。生産が2か月連続プラス、販売が2か月連続マイナス。

販売が増加に転ずるかどうかが今後に注目。

・住宅着工の動向については、前年同月比で+1.3%と増加で2か月連続プラス。増加傾向が続くのかどうか今後の動向に注目。

・アルミ圧延・押出品生産数は、板類・押出生産合計が前年比-2.6%、5か月連続マイナス。

今後更にマイナスが続くのか動向に注目。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+7.4%、6万5185 t、8か月連続プラス。

出荷は+7.1%、6万5157 t、8か月連続プラス。

今後もプラスが続くか注目。

・アルミ輸出は、アメリカの輸入規制に伴う地金高思惑を受けて大幅増加。

アルミ缶は内需の荷余り感から増加。

・アルミ輸入は、全品種が中国塊の割安感から増加。

【スクラップ需給予想】

流通在庫は、中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉が多いものの買い手は少なく飽和状態。

需要面に関しては前月に続き自動車の生産、販売が低迷していること、輸入地金の下落を受けて荷余り状態になるのではないかと？

【価格・為替予想】

今月は米貿易戦争と鉱山ストの動向に左右される。

米中貿易戦争に関しては米ハーレー社の工場海外移転検討などに代表されるように米製造業からも反発の声がでてきており、両国間での歩み寄りが出てくるのではないかと？

鉱山ストに関しては、エスコンディエーダ鉱山の労使交渉に関しては7月中に解決される可能性があるが、時期的にその他のストが起こる可能性があるのではないかと。

これらを踏まえた7月のアルミ価格は、米中貿易戦争で両国間の歩み寄りが見られ、エスコンディエーダ鉱山で昨年同様労使交渉が決裂した場合2,300ドル付近。両条件が揃わなかった場合現状から2,100ドル付近まで下落するとの予想。

為替は上記材料からドル円値は109円~112円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては0~10円程度と予測している。

【「6月のアルミレポートおよび7月の見通し」終了】

日刊金属

購読料	12 ヵ月	72,000 円 (税別)
	6 ヵ月	36,000 円 (税別)
外電配信料	12 ヵ月	84,000 円 (税別)
	6 ヵ月	42,000 円 (税別)



7月後半の山行故銅買値は5万円引き下げの52万円 三菱マテリアル

三菱マテリアルは、17日、7月後半の山行故銅買値(99%ベース)を発表した。山行故銅の買値は5万円引き下げの52万円。これを受けて黄銅山送りも2万5,000円引き下げとなった。直近6か月の買値は次の通り。

2018年

□ 2月 前半 60万円 後半 59万円

□ 3月	前半 57万円	後半 57万円
□ 4月	前半 55万円	後半 56万円
□ 5月	前半 58万円	後半 59万円
□ 6月	前半 57万円	後半 60万円
□ 7月	前半 57万円	後半 52万円

故銅市況

18日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,143.00ドルより1.50ドル安の6,141.50ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,157.50ドルより21.50ドル安の6,136.00ドル。カーブ取引は前日の6,192.00ドル～6,192.50ドルより40.50ドル安の6,151.50ドル～6,152.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(7月限)は、前日の275.70セントより1.75セント安の273.95セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(8月限)は、前日の4万8,870元より130元安の4万8,740元。

18日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.44円より0.57円の円安ドル高の1ドル=114.01円。NYカーブLME先物比は12.00ドル安。18日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,141.50ドル。この値と18日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の73万6,000円より4,000円高の74万円。この日、電気銅建値は73万円に据え置かれた。

為替動向

17日から18日午前にかけての外国為替市場で、円相場は反落した。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が595～600、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは576～581、並銅は515～520、込銅(高品位=約97%)は475、セパは462～467。コーペルは要り用筋で453、それ以外は445ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋448、それ以外431～456どころの値頃。並青銅鋳物削粉は447～452どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が598～603、上銅新くずが565～585、普通上銅が532～542、2号銅線が538～548、並銅が503～504、込銅(90-93%)が462～429、下銅が322～372、セパが429～439、コーペルが385～425、黄銅棒地が441～446、黄銅削粉が389～436、黄銅ラジが340～348、交叉ラジが325～336、黄銅銅鋳物が362～369、送りが200～215、上青銅鋳物が457～473、並青銅鋳物が449～462、上青銅鋳物削粉が454～473、並青銅鋳物削粉が447～451どころ。

新断
新ダライ
高価買取します。

(株)エイワ産業

〒577-0536 東大阪市洪川町 2-2-2

☎ 06-7891-8180

FAX 06-7891-8170

17日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は前日の同時刻比0.50円の円安・ドル高、1ドル=112.80円～112.90円だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.63円の円安・ドル高、1ドル=112.85円～112.95円で取引を終了した。

米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長が17日に米議会上院で証言し、米国経済について、「力強いペースで拡大していくだろう」との見通しを披露。その上で、金融政策については穏やかな形での利上げが最善であるとの認識を示した。

ロンドン・ニューヨーク市場では、FRBによる今後の利上げ継続を確認した円売り・ドル買いが進行した。円は対ドルで113円近傍まで下落、ただ節目の水準を前に上値が重くなった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.57円～112.93円だった。

18日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は、1ドル=112.99円～113.02円、前日の17時時点に比べて0.65円の円安・ドル高。

米FRBのパウエル議長が、議会証言で利上げ継続の意向を示したことで、米長期金利の先高感を意識した円売り・ドル買いが朝方から先行した。円相場は節目の113円台に下落。東京株式市場で日経平均株価が上昇していることもリスク選好の円売りにつながっているもよう。



LME銅はまちまち 先物が6営業日ぶりに小幅で反発
カーブ取引は続落 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場は反落
LME非鉄相場は概して地合が軟化
亜鉛は反発 鉛は反落 ニッケルは3営業日の続落

18日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,142.50ドルより1.25ドル安の6,141.25ドル。3か月物も、前日の6,174.50ドルより.75ドル高の6,175.25ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の25万7,000トンより約3,000トン増のおよそ26万トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（7月限）は、前日の275.70セントより1.75セント安の273.95セント。カーブ取引は、前日の6,192.00ドル～6,192.50ドルより40.50ドル安の6,151.50ドル～6,152.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（8月限）は、前日の4万8,870元より130元安の4万8,740元。

BHPピリトンの運営するチリ・エスコンディエーダ銅山労組が、経営側の初めて公式に提示する賃上げ提案を拒否したと伝えられ、「チリでの供給が中断する可能性」が再び報じられた。ただ、双方は週内に改めて交渉するとしており、あまり材料視はされなかった。

錫は下落

LME錫相場の直物は、前日の1万9,602.50ドルより107.50ドル安の1万9,495.00ドル。3か月物も、前日の1万9,612.50ドルより210.00ドル安の1万9,402.50ドル。

鉛は反落

LME鉛相場の直物は、前日の2,182.50ドルより18.75ドル安の2,163.75ドル。3か月物も、前日の2,197.00ドルより14.00ドル安の2,183.00ドル。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,526.50ドルより21.25ドル高の2,547.75ドル。3か月物も、前日の2,499.00ドルより22.50ドル高の2,521.50ドル。

アルミはまちまち アルミ合金もまちまち 北米特殊アルミ合金は反落

LMEアルミ相場の直物は、前日の2,127.50ドルより17.75ドル安の2,109.75ドル。3か月物は、前日の2,059.50ドルより5.25ドル高の2,064.75ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,785.00ドルより15.00ドル高の1,800.00ドル。3か月物は、前日の1,785.00ドルより5.00ドル安の1,780.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,687.50ドルより7.00ドル安の1,680.50ドル。3か月物も、前日の1,715.00ドルより7.50ドル安の1,707.50ドル。LME公認倉庫のアル

アルミ二次合金メーカー買値実勢値
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(7月前半)
 2S=203円～211円、63S=200円～204円、アルミホイール(1P)=195円～200円、ビス付サッシ=149円～153円、エンジンコロ=155円～157円、込合金(機械鋳物)=151円～153円、缶プレス(ソフト)=118円～133円。

関西地区(7月前半)
 2S=198円～206円、63S=196円～200円、52S=208円～212円、印刷版=201円～206円、アルミホイール(1P)=184円～189円、ベースメタル=208円～213円、機械鋳物=155円～160円、ドライ粉=127円～132円、ビス付サッシ=150円～155円、缶プレス=136円～141円。

ミニウム在庫量は、前日のおよそ115万6,000トンより約1万9,000トン増のおよそ117万5,000トン。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前日の13,677.50ドルより222.50ドル安の13,455.00ドル。3か月物も、前日の13,787.50ドルより235.00ドル安の13,552.50ドル。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲 治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22
 TEL 06-6561-3759(代表)

LME公式値（単位：ドル）／7月17日（現地）

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,141.25	19,495.00	2,163.75	2,547.75	2,109.75	1,680.50	13,455.00
	前営業日比	▲ 1.25	▲ 107.50	▲ 18.75	21.25	▲ 17.75	▲ 7.00	▲ 222.50
先物	公式値	6,175.25	19,402.50	2,183.00	2,521.50	2,064.75	1,707.50	13,552.50
	前営業日比	0.75	▲ 210.00	▲ 14.00	22.50	5.25	▲ 7.50	▲ 235.00

(7月18日 入電・現地 7月17日)

海外非鉄金属相場

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and high/low values.

NY COMEX相場 table showing prices for Copper, Gold, Silver, Platinum, and Palladium with various contract months.

フリー・マーケット table showing US producer prices for Copper and Silver.

NY相場 table showing trading prices for Copper and No. 2 Copper Wire.

ロンドン相場 (ドル) table listing prices for various metals like Gold, Antimony, Bismuth, Cadmium, Indium, Selenium, etc.

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン) table comparing London and New York prices for Tin.

LME在庫 (トン) table showing inventory levels for Copper, Tin, Lead, Zinc, and Aluminum.

COMEX銅在庫 (トン) and 上海在庫 (トン) tables showing inventory for Copper in COMEX and Shanghai.

NYカーブ table showing price curves for Copper and Aluminum.

上海相場 table showing Shanghai market prices for Copper, Aluminum, Zinc, and Lead.

採算価格 table providing a detailed cost breakdown for LME, COMEX, and Shanghai markets.

非鉄金属製品相場

(7月18日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京		
銅小板2.0ミリ	950	980	亜鉛板0.3×3×7	620	620		
建築用0.3ミリ	960	990	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800		
銅大板2×1×2	1120	1180	給水管13ミリ	310	310		
銅管(ベース)	1140	1160	鉛板1.5ミリ	340	340		
水道用管(m当たり)13ミリ	820	840	鉛線3ミリ	465	475		
銅棒25ミリ	930	970	軽圧品(仲値)	大阪	東京		
銅条1.5×100	940	960	アルミ箔0.007ミリ	945	1005		
銅線0.9ミリ	1010	1040	〃 小板1ミリ	520	510		
銅帯6×50	930	980	〃 大板1ミリ	510	500		
銅平角線	1210	1200	〃 5052板	650	550		
黄銅小板2.0ミリ	810	830	〃 5083板	665	565		
〃 0.3ミリ	830	830	〃 2017板	1035	925		
黄銅大板2×1×2	980	1030	〃 線3ミリ	645	560		
黄銅管	1360	1300	〃 快削棒25ミリ	785	780		
復水器用黄銅管	1355	1355	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760		
黄銅棒快削25ミリ	680	680	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720		
六角棒	720	710					
四角棒	750	740	貴金属(一般小口向け)				
鍛造用	730	720	白金(グラム)	◆3306			
ネーパル	820	820	パラジウム(グラム)	3688			
高力	820	820	金(グラム)	◆4862		合金鉄	5月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1005	1035	銀(キログラム)	◆64150		フェロマンガン2%以上炭素含有	147
黄銅平角線ロール仕上	1210	1250				〃 その他	176.9
黄銅条1.5×100	795	825	レアメタル輸入価格	5月通関 (CIF)		フェロシリコン55%以上	160
リン青銅板一般用1.0ミリ	1980	1960	金属ケイ素(99.99%未満)	256		フェロクロム4%以上炭素含有	161.7
〃 バネ用0.3ミリ	2200	2170	モリブデン酸化物	2193		フェロモリブデン純分60%以上	2124
リン青銅棒25ミリ	2240	2250	タンタル	35353		フェロバナジウム	5676
リン青銅線3ミリ	2420	2400	マグネシウム	260		フェロニッケル33%未満	432.7
洋白板一般用1.0ミリ	2860	2810	コバルト	9650		電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3030	2990	インジウム	34604			
減摩合金	7月17日改定		銅合金地金	7月17日発表			
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京		
1種		2710	BC 1種	825	—		
2種		2635	2種	995	—		
3種		2565	3種	1040	—		
4種		2265	6種	885	—		
5種		2190	7種	920	—		
7種		915	YBSC 3種	740	—		
8種		825	LBC 3種	1005	—		
9種		745	PBC 2種	1060	—		

非鉄金属材料相場

		山元建値		電気銅	730(12)	金	4588(18)
		() 実施日		電気鉛	307(17)	銀	58,040(18)
				電気亜鉛	328(17)	錫(99.99%)	3,600(10)
キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(7月18日調べ)	インジウム大口(99.99%)		42,000 ~ 46,000(1)
非鉄原料		大阪		東京		地 金	
(炉前材)		仲間相場		仲間相場		大阪	
1トン以上外税持込						東京	
						仲間相場	
						高値 安値 高値 安値	
1号銅線	650	647	電 気 銅	◆702	◆697	◆704	◆699
2号銅線	590		電 気 亜 鉛	310	305	310	305
上銅(新切)	622	621	蒸 留 亜 鉛	301	296	301	296
雑ナゲット	560	562	ダイカスト亜鉛2種	240	234	240	234
並銅	571	569	再生亜鉛(98%)	210	205	210	205
下銅	544	540	電 気 鉛	287	282	287	282
銅削粉	547	544	再 生 鉛 1 号	267	260	267	260
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	271	256	271	256
新切黄銅セバ	470	486	錫 1 号	2350	2300	2350	2300
コーベル	446	456	ア ン チ モ ン	1080	1030	1080	1030
黄銅棒地	448	453	ニッケル(メッキ用)	1750	1700	1750	1700
黄銅削粉	442	449	コ バ ル ト	10700	10400	10700	10400
並黄銅	432	421	セ レ ニ ウ ム	4900	4700	4900	4700
黄銅ラジエター	331	320	ビ ス マ ス	1400	1300	1400	1300
交叉ラジエター	374	349	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450
黄銅鑄物	434		水 銀	1800	1700	1800	1700
山送り	◆235		アルミ地金99.70%	◎271	◎267	◎273	◎269
上青銅鑄物	510		アルミ二次地金99%	217	212	217	212
並青銅鑄物	496	497	〃 90%	209	204	209	204
上青銅鑄物削粉	501	491	アルミ二次合金ADC12	319	314	322	317
並青銅鑄物削粉	488	481	鑄物用C2BS	344	339	346	341
新切リン青銅(伸銅)		644	青銅合金地金3種	995	985	1030	1020
〃 (鑄物)	627		〃 6種	865	855	875	865
リン青銅削粉	528	516	ハンダ錫60%	1880	1840	1905	1875
新切洋白(電子材)	546	530	〃 50%	1665	1615	1690	1660
新切亜鉛	123	123	〃 40%	1510	1450	1470	1440
ダイカストくず	103	103	減摩合金2種	2620	2590	2625	2595
亜鉛ドロス	103	83	〃 4種	2250	2225	2255	2225
上鉛	117	115	〃 7種	885	835	885	835
電池巢鉛ケース込	45	42	ステンレス・特金	18-8ステンレス	新切	75	70
活字鉛	112	109	〃	ダライ粉		60	55
新切アルミ1級	169	172	〃	13クローム	新切	18	18
新切サッシ1級	170	173	〃	ハイス	9種	130	130
新切合金1級	160	163	〃	〃	ダライ粉	—	—
機械鑄物1級	123	123					
ビス付サッシP	109	112					
合金削粉P	100	100					
込ガラP	90	92					
カン・バラ	83	87					